

東京商工会議所女性会 サマーセミナー ～私達こそ輝く未来を拓く～ 実施報告書

日 時 平成 27 年 7 月 16 日 (木)
14:00～15:30 第一部 講演会
15:45～17:20 第二部 ワークショップ
18:00～19:45 第三部 懇親会

会 場 ハイアットリージェンシー東京 (新宿区西新宿 2-7-2)
地下一階「天平」(第一部、第二部) / 「平安」(第三部)

参加者数 103 名

第一部：講演会

テーマ：《女性活躍推進の風が吹く今！何を考え、どう行動すべきか》
～リーダーシップ研究の視界からの問題提起～

講 師：IMD北東アジア代表 高津 尚志 氏



プロフィール 1983 年にカナダのケベック州に留学後、早稲田大学政治経済学部を卒業し、日本興業銀行へ入行。数年後には、ボストン・コンサルティング・グループやリクルートでキャリアを重ね、数々のグローバルプロジェクトを成功させる。リクルート Works 編集長を経た後、現在、スイスの世界的ビジネススクール「IMD」の日本市場責任者として、日本企業のグローバルリーダー育成に携わっている。

講演の構成

1. 真の女性活躍推進に向けて
～自らを知る、生かす、管理する + 基準を見直す + 数を増やす
2. 働き方の革命の必要性～前提条件から見直す
3. 結婚や子育ての幸せに向けて～持論ではなく、心理学に根差したものを
4. まとめとして、もっていただきたい3つの視点

これらの表題に基づいてご講演を頂きました。

職場での女性経営者の役割としては、自らをよく知って、リーダーシップをどのように発揮をして行くかと言う事を考える。

従来あった、《変換型》ではなくて現代社会においては《変革型》が必要になってきている。特に女性に対しては企業や社会から《リーダー》に対する期待と《女性》に対する期待と、

2つの面を、見られる事になる。女性は女性であって、男性とは違う感性や、脳を持ち合わせている。だからこそ、その《豊かな感性》を生かして頂きたい。

また、成功の為に必要な《女性的行動》《男性的行動》の融合と言う事も大切である。

男性的行動としては、人間が本来持っている《自己主張》《競争本能》などで、女性的行動としては、《自己過小評価》《拒絶される恐怖》などである。

《チャック女子》と言う女性は、外見は女性でも内面が男性的な気性である。そのような女性も増えている。(イベントなどで登場する着ぐるみのチャックを開けると男性であったり女性であったりに由来する)そのような女性は、決断力や実行力に優れている。

《自己過小評価》は女性には特にありがちで、互いに良くも悪くも譲り合ってしまう。

男性と違ってこの部分に、女性の《社会適応》が早いと言われる所以である。

このような《固定観念》とも上手に付き合っていきたいものです。

経営者の健康問題として、《睡眠の重要性》があります。

短期間の睡眠不足は判断の質を下げ、脳への情報や指令の伝達が滞る事になります。

長期間に渡る睡眠不足は、肥満、糖尿病、心肺疾患に影響が出やすく、早死のリスクを高め、職場においては、認知、判断力への悪影響、生産部門では、過失、事故にもつながりやすく、効率も上がりにくくなります。

これらをかんがみて、認識機能(集中力、記憶力、数学的能力、論理的思考)を維持するためにも、8時間睡眠の大切さを知りましょう。

現代は、オフィスを必要としない職種もあり、わざわざ会社へ入社する事もなく、

自宅で、インターネット、メールなど SNS やスカイプでの取引、打ち合わせなど、

所謂、報・連・相が済むようになった。これらは《働き方の革命》と言われるものである。

仕事を取り巻く環境の変化の中で、結婚や子育ての幸せに向けて持論ではなくて、心理学に根差したものも必要となってくる。

例えば、子供に対して親の目の届く年齢と言うものが、限られてくる。

上限は11歳までで、それ以降は子供の親離れが始まる。思春期に入る子供を過干渉にならずに辛抱強く見守っていく事が大切である。その期間の親の行動は、《相手に温かさを示す事》《相手を無条件に受け入れ、無条件に愛する事》《こちらの言っている事と、やっている事が合致していること》それらに対して特に注意をして過ごす。

このような子育てを学び、体験をする事によって、人としての成長や愛も生まれ、懐の深さ、心の柔軟性を身に着けることができる。心の柔軟性なしに、男性も女性も生きられない。

結婚も、心の柔軟性無くしては続けていく事は出来ない。

《まとめ》

・ひとりの女性、リーダーとして自分は明日から、何を始め、強め、何をやめて、弱めるか。

・ひとりの経営者として、自らの会社で何を始め、強め、何をやめて、弱めるか。

・女性会として広く経済界や、社会に何を提言して行くべきなのか。

《企業は何故この世に存在するのか》と言う根本的な部分も、人々が集まり企業と言う名のもとに、個々人がバラバラにやっていると、成し遂げられない。

そして《これからの企業は何をすべきか》《社会や人類とどう関わっていくか》と、言った、未来に向けての課題も、突きつけられました。

社会人とは、働いてお金を稼ぐ人ではなくて、社会を作っていく人である。

高津様のこの言葉に、何故、会社を経営しているのかと、忘れがちな基本を教えてくださいました。

第二部：ワークショップ

サマーセミナー第二部では、社会の変化に呼応するダイバーシティ推進や女性活躍推進が求められる中『女性活躍推進社会における 企業が取り組むべき対策とは』をテーマにグループディスカッション形式のワークショップを行った。

山崎登美子会長はじめ女性経営者 94 名が参画し、現状把握と課題、課題改善と対策法について、意見交換及び発表を行い情報共有した。本報告書では主に対策法について取りまとめた。

総評 : 会長 山崎登美子
同 : IMD 北東アジア 代表 高津尚志 氏
第二部閉会挨拶 : 副会長 須永明美
第二部司会 : 理事 作田智子
モデレーター : 理事 内川あ也
タイムキーパー : 理事 椿克美
写真撮影 : 理事 志賀律子、田中洋子、永野愛

《グループディスカッション司会者、発表者》

| | |
|---------------|----------|
| A : 委員 吉田明美、 | 委員 藤本花子 |
| B : 委員 石井清香、 | 委員 金子裕子 |
| C : 委員 谷リエ子、 | 委員 小野綾子 |
| D : 委員 財津澄子、 | 委員 渡邊敦子 |
| E : 委員 福本衣李子、 | 委員 人見玲子 |
| F : 委員 斎藤良枝、 | 委員 河合智子 |
| G : 委員 小池淑子、 | 委員 大出博子 |
| H : 監事 丸田清美、 | 委員 坂野維子 |
| I : 委員 南部洋子、 | 委員 真下美由起 |
| J : 委員 新美弘恵、 | 委員 安藤邦子 |

(本文敬称略)

〔女性活躍推進社会の形成状況〕

内閣府男女共同参画局の男女共同参画社会の形成の状況によると、企業による自主的な取組に際しての課題として、中小企業においては取組む際に新たにコストが必要になる事が多い事等をあげ、取組む事が企業のプラスに反映していく事をいかにステークホルダーに示していくかが鍵となっている。

〔ワークショップ ポイント〕

女性会会員企業の多くは中小企業で構成されており、企業がダイバーシティ推進や女性活躍推進に取り組む際の課題も多いが、女性が輝く社会や未来をいかに実現していくかに対し、①女性経営者の視点から、②中小企業が実現可能な対策について、企業や社会の現状把握や課題を洗い出し、課題解決への礎となる対策法について率直な意見交換を行なう。

(1) 第二部参画状況

- ・参画人数：94名、グループ数：AからJグループ迄、計10グループ
- ・各グループは3つの対策法にまとめ、合計30の対策法を発表を行った。

(2) 対策法発表

- ・A～Jの各グループごとに、3つの対策法をキーワードで表示(表1)する。

表1：女性活躍推進社会における企業が取り組む対策法発表

| | A | B | C | D | E |
|---|-------|-------|-------|------|-------|
| 1 | 保育支援 | 意識改革 | 意識改革 | 意識改革 | 後押し |
| 2 | 在宅勤支援 | チャンスを | 就業規則 | 法律改正 | 社員旅行 |
| 3 | 時短用支援 | 平等な評価 | 保育園 | 基盤整備 | 女子会 |
| | F | G | H | I | J |
| 1 | 働き方 | 環境改善 | 職住接近 | 企業理念 | 生涯計画 |
| 2 | 自覚と覚悟 | サポート | 男性の育休 | 社会基盤 | 自己啓発 |
| 3 | 相互理解 | 意識改革 | 生産性向上 | 人材育成 | 社風づくり |

*対策法はキーワード表示

(3) 対策法 分類

対策法について、1. 経営者の変革 (4)、2. 経営改革 (4)、3. 多様な働き方 (5)、4. 子育て支援 (3)、5. 職場改善 (8)、6. 個々の変革 (3)、7. 社会との関わり (3) に分類(各分類の後の確固内の数字は発表したグループ数を示す)を行った(表2、図1)。

表 2：女性活躍推進における企業が取り組むべき対策法分類表

| 対策法 分類 | グループ数 | 延べ人数(人) |
|------------|-------|---------|
| 1. 経営者の変革 | 4 | 36 |
| 2. 経営改革 | 4 | 36 |
| 3. 多様な働き方 | 5 | 45 |
| 4. 子育て支援 | 3 | 27 |
| 5. 職場改善 | 8 | 72 |
| 6. 個々の変革 | 3 | 27 |
| 7. 社会との関わり | 3 | 27 |

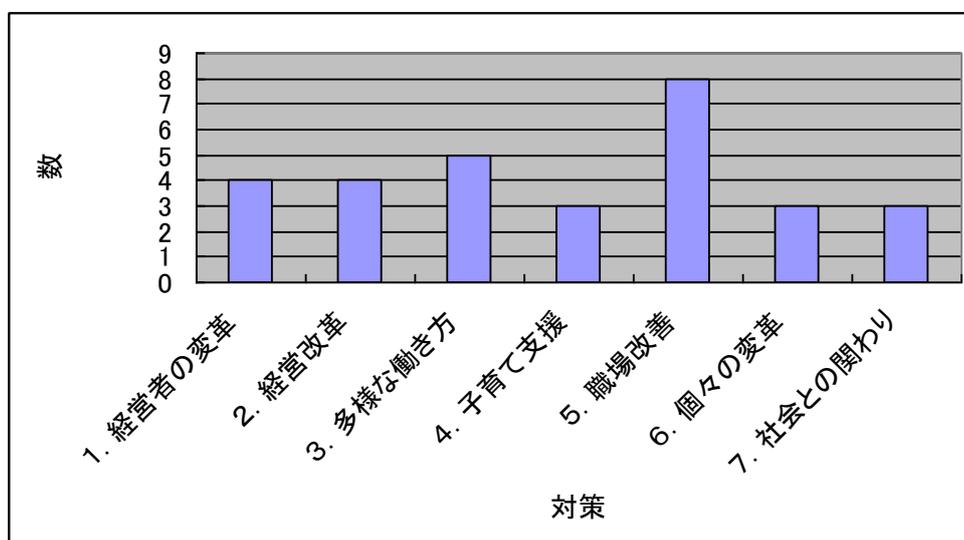


図 1：女性活躍推進における企業が取り組むべき対策法分類表

2. 対策法 内訳分析

対策法の分類内訳について分析を行った（表 3）。対策法の内訳について、経営者の変革では「まずトップが変わらなければならない」とし、経営者の意識改革についての意見が目立った。

多様な働き方では、近年、社会で女性活躍推進の重要な鍵とされる「時間の管理」に関する、時短、職住接近など企業や社会が抱える課題に対し幅広い具体策が出された。職場の環境改善では男性の意識改革の必要性、CSR や社会との関わりについてなど女性経営者の視点からの対策法も多々みることができた。

また、新しい視点から個々の変革などの意見や、社員旅行や女子会などコミュニケーションの重要性など、実現可能な極め細やかな対策法も女性経営者ならではの意見と特筆できる。本ワークショップは女性経営者を対象としており、経営者自身の変革についての意識の高さが表れと考えられる。

表 3：女性活躍推進における企業が取り組むべき対策法分類内訳表

| 対策法 分類 | | 内訳 | グループ数 | 延べ人数(人) |
|--------|---------|-----------|-------|---------|
| 1 | 経営者の変革 | 経営者の意識改革 | 3 | 27 |
| | | 相互理解 | 1 | 9 |
| 2 | 経営改革 | 企業理念 | 1 | 9 |
| | | 生産性向上 | 1 | 9 |
| | | 社風づくり | 1 | 9 |
| | | 社内環境改善 | 1 | 9 |
| 3 | 多様な働き方 | 時短 | 1 | 9 |
| | | 多様な働き方 | 1 | 9 |
| | | 就業規則見直し | 1 | 9 |
| | | 職住接近 | 1 | 9 |
| | | 在宅勤務 | 1 | 9 |
| 4 | 子育て支援 | 保育支援 | 1 | 9 |
| | | 企業内保育場所設置 | 1 | 9 |
| | | 男性の育休 | 1 | 9 |
| 5 | 職場改善 | 人材育成 | 1 | 9 |
| | | 平等なチャンス | 1 | 9 |
| | | 平等な評価 | 1 | 9 |
| | | サポート体制 | 2 | 18 |
| | | 社員旅行 | 1 | 9 |
| | | 女子会 | 1 | 9 |
| | | 男性の意識改革 | 1 | 9 |
| 6 | 個々の改革 | 自覚と覚悟 | 1 | 9 |
| | | 自己啓発 | 1 | 9 |
| | | 生涯計画 | 1 | 9 |
| 7 | 社会との関わり | 法改正 | 1 | 9 |
| | | 社会基盤整備 | 2 | 18 |

(4) 総評

- ・意識改革の意見そのものはよいが、意識改革には注意を要する。具体的なところで変わらなければならない。その為、いかに変わったかについてその後の変化を見る必要がある。
- ・女性経営者の視点から具体的な対策について、会場が熱気に包まれる位に熱のこもった意見交換が多々できた。

第三部：懇親会

保田副会長より、高津先生の女性として、母として、そして今の社会に必要とされる女性リーダーとしての素晴らしい講演、そして第二部のワークショップでは時間がたりないほどに熱いディスカッションがあり、女性が一つに合わさると、こんなに素晴らしい力が発揮されるものだと感心いたしました。これからも皆さんと力を合わせて、女性会を盛り上げていきましょう。女性会の益々の発展に「乾杯」と力強い発生のもと懇親会が始まりました。

それぞれの委員会の PR 合戦の始まりです。

女性少子化問題委員会では

子育てや少子化に関するアンケート意識調査や婚活事業の実施など、今後の活動をご紹介します。

待機児童問題に関しては、寸劇で市役所の窓口の担当者と子育てをしながら働きたいお母さんのやりとりなど、切羽詰まった電話のやりとりがあり、それでも受けて頂けない現実にはがっかりされ、待機児童が増える矛盾を感じさせられました。

少子化が進むなか、10月2日のエンゼル大作戦と称し婚活事業へのご協力もお願い致します。そして、女性が安心して社会進出が出来る一助となりますようお願いしています。

次は、ビジネス事業委員会です。

テレビでおなじみのキャラクターに扮して登場

そのリードでビジネス事業委員会って何をするとところなの？

すると委員の一人が女性経営者を対象とした研修事業、又女性が活躍する企業の好事例発掘と情報発信していますと答えが返ってきて、舞台中央におかれた花台に大きなひまわりの花を1本、そして次々とインタビューに答える度に大きなひまわりの花が差し込まれ、あっという間に素晴らしい大輪のひまわりが出来上がり、ハートのバルーンが花台に飾られました。ひまわりのように明るく元気なチームですと、会員全員で呼びかけていました。

社会貢献委員会では、

私達の活動の基本となる3本の柱は（知る、支える、繋げる）について話された上、福島視察活動・車椅子を提示してのエコキャップ寄付活動、そして観光振興大会への参加の呼びかけをされ、世界の教育事情に関しては義務教育さえ受けられない子供達も多く、世界の軍事費177兆円、その世界の軍事費3日分で世界中の子供が一年間学校に通うことが出来るそうです。そこで、ミニ知識としてクイズが出されました。

一つは世界でどのくらいの子供が小学校に通っていないでしょう？

答え：およそ 5800 万人、12 人に 1 人だそうです。この答には、皆さんびっくり！日本の国の子供達の教育事情の優秀さを感じさせられる一瞬でした。

正解の方には福島産のキャンディーがプレゼントされました。

最後に、組織運営委員会では、

委員は浴衣を着て華やかなプラカードを一人ずつ持ち、壇上へ登場。組織運営委員会では、新年懇親会・新入会員の方を中心とした交流事業を開催しています。と、事業説明があり、女性企業家の皆様が一人でも多く入会されますよう宜しくお願い致します。

最後に皆様と御一緒に東京音頭ならぬ、“華の女性会音頭”で元気よく歌って踊りましょう！

♪♪ 華の女性会音頭 ♪♪

1) ア～おどり おどるなーあーら まるくなっておどーれ チョイチョイ
おどりゃこーこーろーも
おどりゃ心も 丸の内 ソレ

ヤットナーソレランランラン
ヤットナーソレランランラン

4) ア～ つどお つどおーよ しーんーねんかい コイコイ
明るくにぎーやーかーに
親交深める 新年会 ソレ

ヤットナーソレランランラン
ヤットナーソレランランラン

5) ア～ そろた そろーたーよ 華の女性会 チョイチョイ
ひとと ひーととの
絆つーなぐ 女性会 ソレ

ヤットナーソレランランラン
ヤットナーソレランランラン

皆さん全員で輪になり歌って踊って賑やかに終了となりました。

(以上)